

# 令和4年度 千葉市民陸上競技記録会

1 主催 千葉市陸上競技協会

2 期 日 令和4年 5月3日 (火・祝)

3 時 間 受付開始 7時45分 競技開始 8時30分

4 会 場 青葉の森スポーツプラザ陸上競技場 〒260-0852 千葉市中央区青葉町654

5 種 目 ※この大会は、記録会形式で行う。

中学生男子：1年100m 2年100m 3年100m 共通200m 共通400m  
共通800m 1年1500m 2・3年1500m 共通3000m  
共通110mH (0.914m/9.14m) 共通4×100mR  
共通走高跳 共通棒高跳 共通走幅跳 共通砲丸投 (5.000kg) OP棒高跳

中学生女子：1年100m 2年100m 3年100m 共通200m 共通800m  
共通1500m 共通3000m 共通100mH (0.762m/8.00m)  
共通4×100mR 共通走高跳 共通棒高跳 共通走幅跳  
共通砲丸投 (2.721kg) OP棒高跳

高校一般男子：100m 400m 1500m 5000m  
走高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 (一般7.26kg 高校6.000kg)

高校一般女子：100m 800m  
走高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 (4.000kg)

小学生男子：1～3年1000m 4～6年100m 4～6年1000m

小学生女子：1～3年1000m 4～6年100m 4～6年1000m

6 出場資格 ①1部参加者は、一般は令和4年度千葉陸協登記登録者、高校生は千葉高体連登記登録者であること。  
②2部参加者は、千葉陸協・千葉県高体連の「未登記登録者」のみとする。  
③小学生は、個人出場ができる。ただし団体登録している場合にはクラブチームでエントリーすること。  
④中学生は、千葉県中体連登記登録者であること。  
⑤中学生・高校生は学校長の承認及び保護者の承諾を得た者であること。  
⑥健康面において競技に支障が無く、日常の活動状況から本大会への出場に差し支え無しと判断された者。未成年者については保護者が承諾した者。  
⑦千葉市内に在学・在住・在勤・在団体であること。

7 出場制限 ①小学生は1人1種目とし、中・高・一般は1人2種目以内とする。中学生・高校生は1校1種目2名まで、又、リレーは別枠とする。  
(ただし、棒高跳ではオープン参加として2名を超えての参加を認める。)  
(棒高跳のオープン参加の場合は、一覧表にオープン参加と明記すること。)

- 8 申込方法 ①千葉市陸上競技協会のホームページから、申し込み方法を確認する。所定の申込一覧表に必要事項を男女別に用紙を分けて記入し、期日厳守で申し込むこと。同じ申込一覧表をもう2部作成（複写可）し、合わせて3部提出のこと。  
②書類の不備及び期日を過ぎたものについては受付しない。また、大会当日の申し込みはできない。  
③小学生は保護者の承諾を得た者で、小学生用の申し込み用紙に記入し提出すること。
- 9 申込料金 小学生：300円/一人、中学生：500円/1種目・リレーは800円/1チーム  
高校・一般：600円/1種目 何れも大会当日に支払うこと。  
※大会当日不参加でも、申し込まれた人数分の金額を納入すること。

10 締切り日 令和4年 4月13日（水）【データ締切】午後5時必着、以降の受付はしない。  
【一覧表締切】午後7時必着、以降の受付はしない。

11 申込先 〒266-0032 千葉市緑区おゆみ野中央4-2 千葉市立泉谷中学校 気付  
問合せ先 千葉市陸上競技協会 木野 真器 宛（学校TEL043-291-6600）

【千葉市陸上競技協会ホームページ】<http://chibashirikkyo.net/>

【申込先アドレス】[chibacity\\_trackandfield@yahoo.co.jp](mailto:chibacity_trackandfield@yahoo.co.jp)

12 表彰 個人表彰は、各種目1位～8位まで賞状を授与する。

- 13 その他 ①事故が起きた場合には、主催者が応急処置をするが、以後の責任は負わない。  
②中学生は県中体連の登録アスリートビブスとする。未登録者・申請中の生徒は仮アスリートビブスとする。  
③高校生のアスリートビブスは高体連と同じアスリートビブスを、一般1部の方は、県のアスリートビブスを使用する。  
④小学生、一般2部のアスリートビブスは主催者で用意する。  
⑤アスリートビブスナンバーを申込一覧表に必ず記入のこと。但し、一般2部と小学生は記入しない。  
⑥スパイクの長さは、走高跳と槍投げは12mm以下、それ以外は9mm以下とする。  
⑦シューズについては、WA規則第143条を適用する。  
⑧出場校・クラブチームは、役員又は審判を必ず出すこと。  
(一覧表の競技役員欄に記名のこと。記名がない場合には出場を断る場合がある。)  
⑨トラック種目はすべてタイムレースとする。  
フィールド種目は、走幅跳及び砲丸投は3回の試技で順位を決め、走高跳及び棒高跳は予選を行わない。  
(但し、エントリー数によりラウンドを変更することがある。)  
⑩新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、(公財)日本陸上競技連盟コロナウィルス感染防止ガイドンスに沿って実施する。大会関係者はマスクの着用、検温、手指消毒の実施。出場選手は健康管理チェックシート（大会前1週間）兼大会参加承諾書に必要事項を記入し大会当日にTICへ提出をする。  
⑪担当校で4月15日（金）午後6時からプログラム編成会議を行う。その際、不備等があった場合には申込責任者に連絡をとる場合や、主催者で処理することがある。  
※毎年エントリーの不備が多く、編成作業が滞る事態が発生している。エントリーの際には、所定のデータおよび用紙を用い、十分に確認の上、提出すること。  
⑫新型コロナウイルス感染防止対策として大会当日の招集の密を防ぐために、スタートリストを大会3日前までにホームページ上に掲載する。  
⑬新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、大会実施方法の変更や、直前に中止となる可能性がある。その際は当協会ホームページで連絡するとともに、運営本部役員から関係者への連絡を行う。

# 令和4年度 千葉市民陸上競技記録会 競技日程および招集時刻

令和4年5月3日(火・祝)

選手受付(正面玄関) 8:00 競技役員打ち合わせ(本部前)

トラック						
順序	競技開始	種目		招集開始	集合完了	
1	8:30	高校一般男	5000m	1組	8:00	8:15
2	8:50	高校一般男	400m	1組	8:20	8:35
3	8:55	中男	400m	4組	8:25	8:40
4	9:10	高校一般男	1500m	1組	8:40	8:55
5	9:20	中女	1500m	2組	8:50	9:05
6	9:35	中男 2・3年	1500m	2組	9:05	9:20
7	9:55	中女 3年	100m	7組	9:25	9:40
8	10:10	中男 3年	100m	7組	9:40	9:55
9	10:30	中女 2年	100m	8組	10:00	10:15
10	10:50	中男 2年	100m	9組	10:20	10:35
11	11:10	中女 1年	100m	1組	10:40	10:55
12	11:15	中男 1年	100m	1組	10:45	11:00
13	11:20	小学生 高女	100m	3組	10:50	11:05
14	11:30	小学生 高男	100m	5組	11:00	11:15
15	11:45	高校一般女	100m	1組	11:15	11:30
16	11:50	高校一般男	100m	2組	11:20	11:35
17	12:00	中女	100mH	5組	11:30	11:45
18	12:20	中男	110mH	3組	11:50	12:05
19	12:35	中女	800m	6組	12:05	12:20
20	13:00	中男	800m	5組	12:30	12:45
21	13:25	中女	200m	6組	12:55	13:10
22	13:45	中男	200m	7組	13:15	13:30
23	14:05	小学生低学年女	1000m	1組	13:35	13:50
24	14:10	小学生低学年男	1000m	2組	13:40	13:55
25	14:25	小学生高学年女	1000m	1組	13:55	14:10
26	14:30	小学生高学年男	1000m	1組	14:00	14:15
27	14:40	中男	3000m	1組	14:10	14:25
28	14:55	中女	3000m	1組	14:25	14:40
29	15:15	中女	4x100mR	4組	14:45	15:00
30	15:30	中男	4x100mR	4組	15:00	15:15

フィールド						
順序	競技開始	種目	人数	組数	招集開始	集合完了
1	9:30	中女 走高跳	32名	2組	8:45	9:00
2	9:30	中女 砲丸投	21名	1組	8:45	9:00
3	9:30	高校一般女砲丸投	1名	1組		
4	9:30	中男 走幅跳	49名	2組	8:45	9:00
5		高校一般男走幅跳	1名	1組	8:45	9:00
6	10:00	中男 棒高跳	7名	1組	9:00	9:10
7	12:30	中女 走幅跳	45名	2組	11:45	12:00
8	13:00	中女 棒高跳	3名	1組	12:00	12:10
9	13:00	中女 OP棒高跳		1組	12:00	12:10
10	13:30	中男 走高跳	21名	1組	12:45	13:00
11	13:30	中男 砲丸投	19名	1組	12:45	13:00
12		高校一般 砲丸投	2名	1組	12:45	13:00

- (1) 招集の手順につき、競技注意事項で確認すること。
- (2) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を1部作成し、集合完了時刻の60分前までにTICに提出すること。  
(顧問のサインを忘れないこと)

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2022年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項、申し合わせ事項によって行う。

## 2. 練習

- ①練習は危険防止に十分注意して行う。競技場内もしくは競技場外園路とする。(公園側園路は禁止。)
- ②会場への投てき物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合完了後、役員の手指示により競技場で行う。
- ③トラック競技開始10分前までは競技場を開放する。
- ④フィールド競技の練習は、役員の手指示により競技場で行う。
- ⑤雨天走路は、手指の洗浄および洗顔・消毒の場所とするため、開放しない。
- ⑥器具の使用後は、手洗いをすること。

## 3. 招集

### ①招集は2度行う。

1次招集：「体調管理チェックシート兼大会出場承諾書」と「当日参加状況届」をTICに提出する。（出場する種目を棄権する場合、「当日参加状況届」の「参加棄権欄」に「×」を記載した上で、スタートリストに記載されている棄権者の氏名に訂正線を記入する。提出忘れや記入漏れがある者は棄権とみなすこととする。）

2次招集：各種目ともタイムテーブル記載の集合完了時刻までに下記の場所に集合する。時間に遅れた者は棄権とみなす。荷物は各自で管理すること。

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| ◇100m・100mH・110mH・400mR 4走 | 第4ゲート外側      |
| ◇200m・3000m・400mR 3走       | 第3ゲート付近芝生エリア |
| ◇1500m・400mR 2走            | 第2ゲート外側      |
| ◇400m・800m・400mR 1走        | 第1ゲート外側      |
| ◇走高跳                       | 走高跳跳躍ピット     |
| ◇棒高跳                       | 棒高跳跳躍ピット     |
| ◇走幅跳                       | 走幅跳跳躍ピット     |
| ◇砲丸投                       | 砲丸投投擲ピット     |

②トラック種目の競技者は、招集所にて配布される腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。(リレー競技は第4走者のみ。)安全ピンは各自で準備する。

③複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技役員に申し出ること。

④ウォーミングアップ中のケガ等により棄権をする場合にはTICに棄権届を提出すること。

## 4. 入退場

①2次招集が完了した者は、競技役員の手指示・誘導に従ってスタート地点（ピット）に荷物をもって移動する。

②トラック競技はレース終了後、競技役員の手指示に従って本部前を通り雨天走路に移動し、手指の洗浄および洗顔・消毒を行い退場する。(本部前は競技役員の手指示がない限り、通行することはできない。)

③フィールド競技は、終了後競技役員の手指示に従い、雨天走路にて手指の洗浄および洗顔・消毒を行って、退場する。

④競技終了後、腰ナンバーカードをゴール地点にあるカゴに入れる。

## 5. ナンバーカード（アスリートビブス）

①ナンバーカード（アスリートビブス）は、登録されたものを使用する。所有していない者は仮ゼッケン（千葉県陸上競技協会指定の番号を記載したゼッケン）を使用する。

②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背に、しわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでもよい。

## 6. トラック競技について

トラック種目はすべてタイムレースとする。

## 7. フィールド競技について

①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技を行なう。

②リレーと兼ねて出場する競技者は、競技者係および当該種目審判員主任に申し出をし、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該種目審判主任の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。

③棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始30分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したい時は直ちに当該審判員に申告すること。

- ④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
中学男子走高跳	1m20/1m50	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降 3cmずつ ※中学男子は 170cm以降 3cmずつ
中学女子走高跳	1m00/1m20	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	
中学男子棒高跳	2m00/2m50	1m80	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	以降 10cmずつ
中学女子棒高跳	1m40/2m00	1m50	1m70	1m90	2m10	2m30	2m40	2m50	2m60	

#### 8. 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。

#### 9. リレー競技について(リレーオーダー用紙はTICに準備)

- ①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を1部作成し、集合完了時刻の60分前までにTICに提出すること。(顧問のサインを忘れないこと)
- ②招集は各スタート場所で行う。
- ③リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ④**バトンは各学校で用意したものを使用する。ダッシュマークは各学校で準備する。ダッシュマークの回収は各学校の前走者が行う。**(バトンは第1走者のみ。)

#### 10. 用器具

- ①棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ②スパイクの長さは、走高跳は12mm、その他は9mm以下とする。
- ③**シューズ(スパイク・ランニングシューズを含む)の厚さについての今大会の規定は以下の表に準ずる。**

種目	靴底の最大の厚さ (TR5.5, TR5.13.3)	要件・備考
投擲種目・跳躍種目 ※三段跳を除く	20mm	全投擲種目と高さを競う跳躍種目に適用。 全投擲種目と跳躍種目で靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 ※ハードル種目を含み、800m未満の種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて、適応する。
トラック種目 ※800m以上の種目	25mm	リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適応する。

#### 11. 番組編成及び結果発表

- ①各種目の結果発表は、アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。
- ②各種目の入賞は8位までとし、賞状を授与する(競技終了後、アナウンス室へ取りに来ること)。

#### 12. 抗議

日本陸上競技連盟規則146条により申し立てを行う。

#### 13. その他

- ①プログラム記載事項に訂正がある場合には、顧問が取りまとめ、競技役員打ち合わせ開始前までに訂正内容を持って本部まで申し出ること。
- ②セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は該当レーンに沿って走り抜けること。
- ③ホームストレート側(本部前からフィニッシュライン付近まで)を通行しないこと。ただし、競技終了後の選手のみ役員の手配のもと通行可とする。
- ④競技場内外のアスファルト部分へはスパイクで入らないこと。また、競技場内の芝生内、スタート位置後方、フィニッシュ位置後方に立ち入らないこと。また、**メインスタンドは使用しない。**

- ⑤競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。  
また、体調が悪くなった者は医務員の指示に従うこと。
- ⑥更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
- ⑦各自の持ち物については自分自身で責任をもって管理し、盗難に注意すること。
- ⑧ゴミについては、各自必ず持ち帰り、競技場・駅・バス停など公共の場に捨てないこと。
- ⑨大会主催者から指定された場所以外でのテント張りは禁止する。
- ⑩テントやタープは、ロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。
- ⑪横断幕やのぼりは設置しないこととする。
- ⑫スターターより「ON YOUR MARKS」がかかったら、選手が集中できるように競技場全体で音を出さないように配慮すること。スタートの付近では特に気をつけること。
- ⑬競技者が号砲前にグラウンド（地面）及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート（フライング）となり、当競技者は失格となる。
- ⑭「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」に従って競技を進める。
- ⑮競技中、大声で応援することを禁止する。
- ⑯競技が終わった選手は、所属団体責任者または顧問に報告したのち、速やかに帰宅する。
- ⑰熱中症予防策として、日本スポーツ協会が定める熱中症予防運動指針に従い、WBGT31℃を超えた場合には競技を中断し、本部で協議する。原則としてWBGT31℃以下になるまで競技は中断とし、中断時間が2時間を超える場合には本大会の以後の競技については中止とする。